

## 事業成果報告書

市町村名： 白岡市

### 1 現状及び課題

保育園に配置された、保育士・栄養士・看護師等の多様な人材を活用した多機能事業を実施したが、保育所開設と同時期の実施だったこともあり、十分な周知や広報活動ができなかった。今後、産前事業利用者が保育園に入所、園の利用者が子育て家庭を支えるという仕組みづくりが課題と考える。

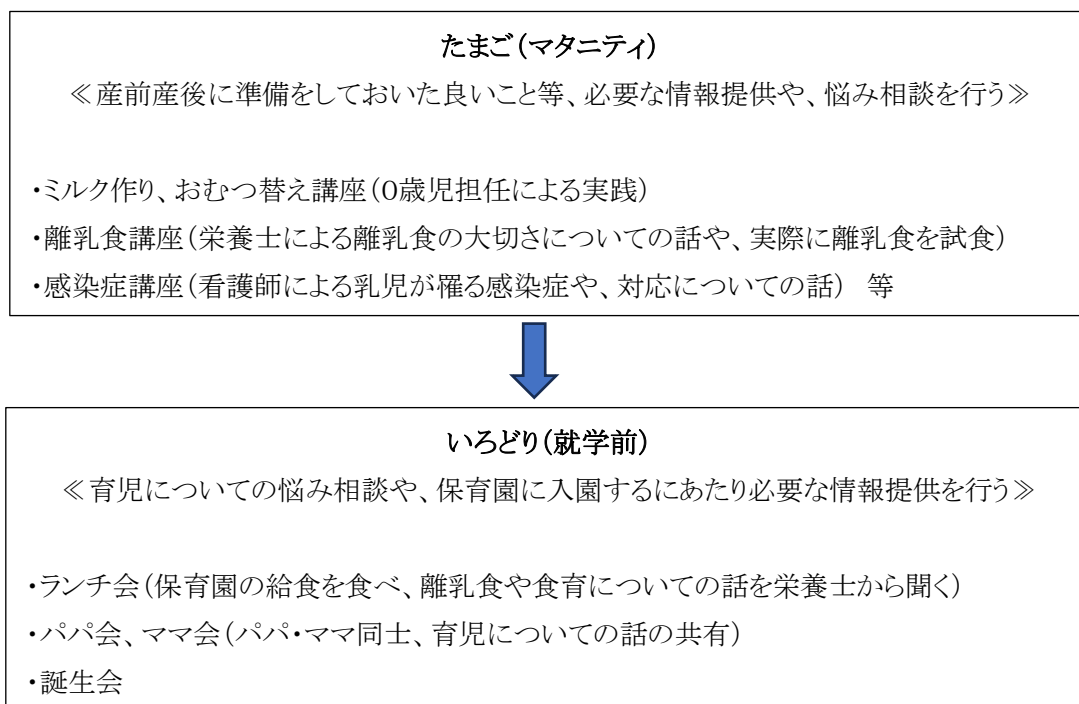
子育て家庭の孤立・孤育てが進んでいる中で、幅広い子育て家庭のニーズに対応することが求められており、当市では、令和5年度からこども家庭支援センターを設置した。妊娠期から子育て家庭までの切れ目のない支援を行っているが、子育て世代の転入も増加しており、子どもや子育てをしている人の目線で、子どもにとって最善の取り組みを考えた施策を実施していくことが課題と考える。

### 2 事業の目的

保育園併設での運営なので、保育士、看護師や栄養士等専門職員が妊婦から産前産後、未就園児～卒園後まで連続して関わることによって、様々な支援を行うことを目的とする。

### 3 事業内容

#### (1) 事業の概要



よりみち(就学後)

《家庭や学童保育だけではなく、安心して過ごせる居場所の提供を行う》

《乳幼児と関わり、命の大切さを知る》

- ・小学先生(小学生と園児の交流)
- ・園庭や室内で遊ぶ

(2) 具体的な取組内容

《計画》

	時間	7月	8月	9月
○たまご(マタニティ)	10:00~11:00	19	2	6
●よりみち(小学生)	15:00~16:00	31	30	27

○7月19日(金)参加者なし

【内容】出産や育児についての悩みを共有し、必要な情報の提供を行う

●7月31日(水)小学生2名参加

【内容】参加者同士交流や園児との交流、乳幼児との触れ合い

・幼児組の身の回りの世話や、一緒におやつを食べ、絵本を読んでもらい、触れ合ってもらった



様式第5号（第12条関係）



・子ども達は、初めてのお兄さん・お姉さんとの交流だったが、とても喜んでいました。

・小学生は園児と触れ合い、保育士の仕事に興味を持っていた。また、乳児組を見学し、小さな子と関わることで、自分の小さな頃を思い出していた。

○8月2日（金）参加者1名

【内容】 出産や育児についての悩みを共有し、必要な情報の提供を行う



- ・今回の方は2人目出産とのことで出産後、保育園に入園できるか等、お仕事復帰についての話や、上のお子さんとの関わり方について等の話を聞き、アドバイスや必要な情報提供を行った。

#### 4 成果及び今後の展開

- ・保育園・支援センターを運営しているため、出産後も子育て支援センター利用でつながることができる。また、専門職の保育士や栄養士、看護師がいるため、様々な相談を受けることができる。
- ・新園のため卒園生がいないが、卒園生がいた場合、卒園後の子ども達の様子を見守ることができる。そして保育士という仕事に興味を持つ機会が増え、将来保育士になる子が増えてくれたら素晴らしいと感じた。
- ・子ども達も小学生と触れ合うことにより、年長児は小学生になることへの期待が持てるようになって良い。
- ・様々な相談を受ける場所になるため、対応できる職員が限られてしまう。職員のスキルアップが課題。
- ・今後もマタニティの方の講座を子育て支援センターで行い、出産前から継続して関わっていく。悩みを共有していきながら必要な情報提供を行い、子育て中の保護者に寄り添いながら、子どもの成長を保護者と見守っていく。